

心機一転新たなスタート

～あったかいまちづくりをめざして～

区社協だより

ひらめ

社団法人 大阪市平野区社会福祉協議会
〒547 大阪市平野区背戸口3丁目8番19号
平野区役所内
☎06-702-3331

平野区社会福祉協議会
は、平成五年十二月一日に社会福祉法人として新たにスタートを切り地域福祉の推進に前向きに取り組んでいきます。

平野区社会福祉協議会（区社協）は、これまで任意団体として、地区社協や各種団体間の連絡調整及び区内各種福祉活動に対する助成などを主な活動としていました。

思いは同じ

区長・会長語り合う

区社協の法人化にあたって、開田平野区長と森田区社協会長にこれからの地域福祉について語り合っていました。

区長 法人化おめでとうございます。

区社協に対する期待は大きく、今後の地域福祉の中心的役割を担っていくものと考えられています。

会長 先日の式典でもかなりプレッシャーをかけら

しかし、近年の高齢化進むなか、福祉を取り巻く状況は複雑多様化しており、とりわけ、お年寄りだけの家庭の増加など、今後いかにして在宅での生活を支えていくかが、大きな課題となっています。

生まれかわって

法人化とは……

活動が必要とされており、区社協がその中心となって活動ができるように社会福祉法人として生まれかわりました。

では、なぜ法人化することが必要なのでしょう。それは、

◆役員体制や議決機関としての責任が明確化する。
◆公的助成が受けられる。
◆福祉活動専門員が配置できる。
◆税控除等の特典があり、寄付金が受けやすくなる。
◆などのメリットがあり、

地域住民に対して専門的な援助やキメ細かい情報提供が

きます。また地域住民からの相談や要望を受けとめる体制が整うからです。この法人化により、地域住民に直接的なサービスを提供できる事業を展開し、区民と区社協との双方向のつながりを広げながら「あったかいまちづくり」を進めていきます。

な。(笑)

区長 そうですね。法律的にも、市町村が自立して独自の活動をするよう、方向づけられています。

区として個性を問われる時代になってきたと

公の制度や施策では補いきれない人と人とのつながりをつくっていききたいですね。
ひと言で言う、「なにかの人情」ってどこか



和やかに思いを語り合う
開田区長(左)と森田昭信会長(右)

賛助会員募集中

これまでの区社協の主な財源は、共同募金の配分金、府・市社協からの補助金、そして寄付金などによる収入でした。

しかし、今後さまざまな事業を展開し、地域福祉を推進していくためには、安定した自主財源が必要となります。そのため、法人化して以降、区社協賛助会員を募集しています。

年会費

- ❖ 個人会員：一口 1,000円
- ❖ 法人会員：一口 10,000円

※ただし、口数に制限はありません。

いうわけです。

会長 福祉はひとつの文化。文化は地域の特性が生きているものです。

そんな福祉のまちにするには、まずそこに住む人達が、「こんなふうに生活したい」「こんな社会をつくらう」と声をあげることから始まるんじゃないかな。

区長 大阪市として、「高齢者地域支援システム」づくりをすすめており、地域で生活を支えていくうとしていきます。

そのためには、やはり住民参加が基本ですね。援助する側、される側、というのではなく、住民だれもが、無理をせず自

分に合った形で、自然にまちづくりに参加している」というのが理想だと思います。

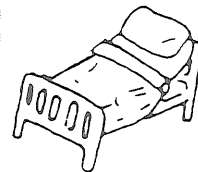
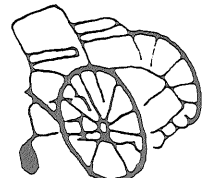
会長 そうですね。そのひとつの形としてボランティア活動を推進しています。ボランティア活動は、生活をより豊かにする部分の応援だと思っています。

公と民間のそれぞれの持ち味を生かした活動をしなが、また常に協力しあつて、活気のある平野区にしていきたいですね。

これからも、よろしくお願ひします。

区長 こちらこそ。めざすものは同じですからね。

福祉機器展秋に開催



□日 程 (予定)
平成6年10月14日(金)
15日(土)

□場 所
大阪市立平野区民ホール
平野区平野南1-2-7

□内 容
・福祉機器の展示
・各種相談コーナー
・その他イベント など

福祉機器って知っていますか。

ちょっとした道具を使うことで、楽にできることがあります。できなかったことができるようになります。

福祉機器は、お年寄りや障害者の日常生活動作を助けたり、介護の負担を和らげたりするための様々な道具です。

人ができない部分を補い、生活をより快適なものにするためのちょっとした工夫です。

あなたも“生活の工夫”してみませんか。



あなたの気持ち
生かします

善意銀行では、皆さまの善意の寄付金または寄付物品を「預託」していただき、区内の各種社会福祉事業、または社会福

祉施設に有効に「払い出し」をしています。あなたの気持ちをみんなの福祉につなげます。ご協力をお願いします。

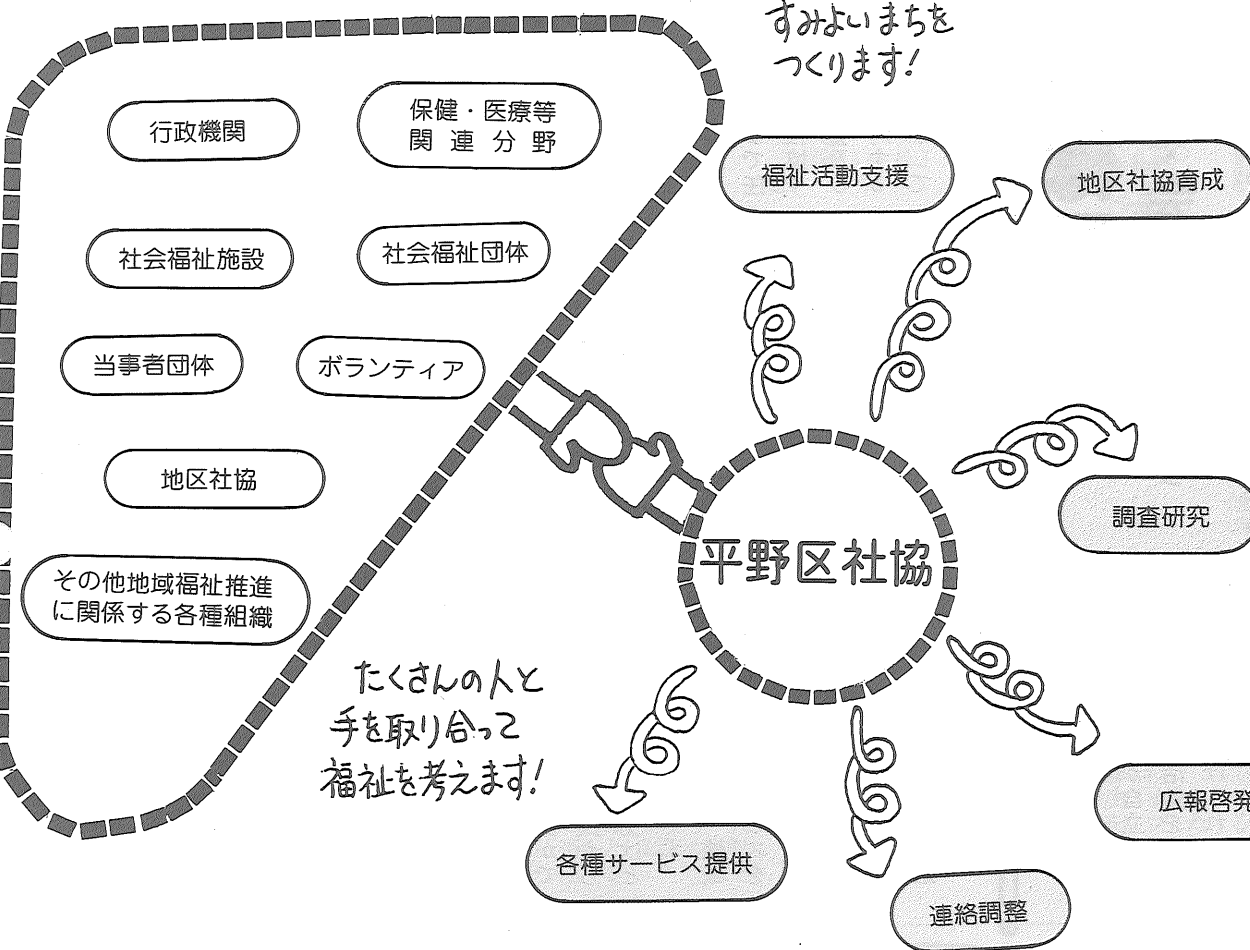
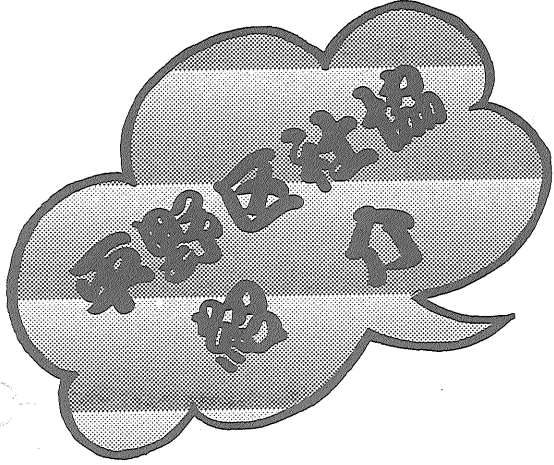
寄付金
寄付物品

善意銀行
(平野区社協)

社会福祉事業
社会福祉施設

社協ってどんなところ？

“社会福祉協議会”をご存じですか。
 「社協って何」「どんなことしてるの」「どこにあるの」「名前は聞いたことあるんだけど…」
 という方が多いのではないのでしょうか。
 皆さんに社協を少しでも知っていただくため、どんなところなのか簡単にご紹介します。



社協とは？

社協とは、「すみよいまち」をつくるため、住民を主体として、たくさんの人たちと協力し合って活動する自主的な民間団体です。

◎目的
 地域の中にある福祉課題を、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることを目的としています。

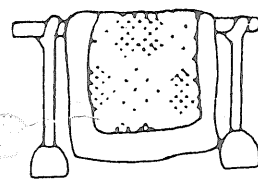
◎性格
 民間団体としての自主性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公益性という二つの側面をもっています。

◎構成
 地域内の各種団体・施設・機関の代表者、専門家などによって構成されています。

◎機能
 関係機関・団体と連携をとり、具体的な福祉サービスの企画実施、啓発交流事業、福祉活動の場づくりなどさまざまな活動を通して地域福祉を推進します。

❖ 布団乾燥サービスの実施

在宅のお年寄りや障害者を対象に布団乾燥を行い、衛生面での改善により、在宅生活を支援します。



❖ ボランティア・ビューローの運営

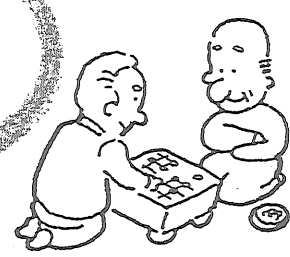
ボランティア活動の拠点として、需給調整を行うほか、ボランティア活動に関する情報源・相談窓口としての機能をはたしています。

❖ 手話講習会の開催

手話を通して障害者に対する理解を深めるため、初心者向けの講習会を約半年にわたって開催しています。

❖ 敬老福祉月間行事の援助

各地区敬老会行事の支援や高齢者への敬老祝品の贈呈などを行っています。



❖ その他

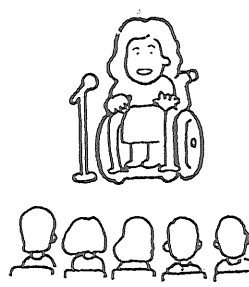
- 児童福祉月間行事の援助
- 「よい子の砂場」設置運動の推進
- 共同募金運動、歳末たすけあい運動への協力
- 各種社会福祉団体への活動助成

おもな活動

区社協はこんな活動を進めています。まだまだ不十分ですが、これから徐々に活動を広げていきます。

❖ 福祉機器展・講演会等の開催

各種イベントを開催し、情報を提供するとともに、地域福祉の重要性をPRします。



❖ 地区社協活動の支援

平野区内の各地区社協に対し、助言、援助を行い、地域での活動を応援しています。



❖ 広報紙の発行

区内の社会福祉活動についてなど、福祉に関するさまざまな情報をお知らせするため、年2回発行します。

❖ 善意銀行の運営

皆さま方からのご寄付を有効に活用できるよう、善意銀行を運営しています。



豊かな長寿社会をめざして ぬくもりネットワーク

平野区役所
区民室
高齢化社会
対策担当

年をとっても、親しい人達とともに、住み慣れた町で生き生きと暮らしたい。これは誰もがもつ願いです。国の調査では、70歳以上の人の約93%が、今住んでいるところに住み続けたいと回答しています。大阪市では、本格的な高齢社会を前に、お年寄りの暮らしを地域で支えるシステムづくりを進めています。

まちづくりの推進役

「地区ネットワーク委員会」

平野区内の19の全地区に、高齢化に伴う問題や必要な取り組みを考えるネットワーク委員会ができました。地区内のいろいろな団体の

長寿社会の課題

昔とくらべ、今の都市の生活は、ずいぶん便利になりました。

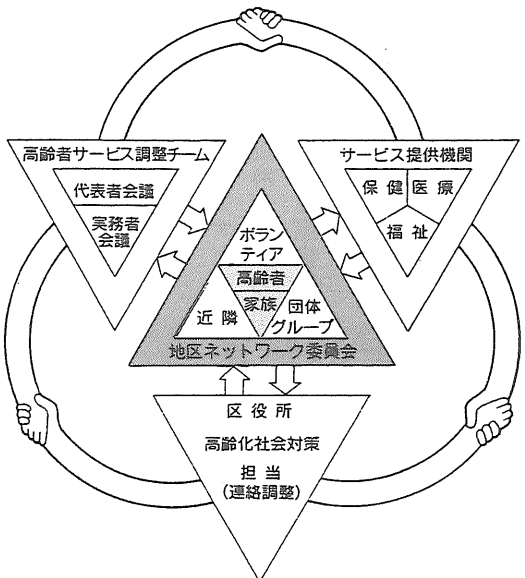
「高齢者地域支援システム」

大阪府は平成3年、各区で「高齢者地域支援システム」づくりをスタートさせました。

これは、援助が必要な人に対して、地域の中のいろいろな団体・個人・施設・行政などが網の目(ネット)のように手を結び、自助(本人・家族・親戚)・互助(地域・友人)ができて、取り組みが進んでいます。

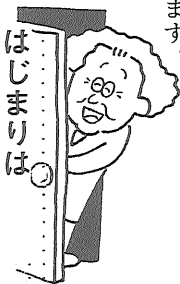
はこれまでの家族に頼った介護の見直しを迫っています。人生80年時代を本当に幸せな長寿社会とするために、住み慣れた地域を基本に、家族の絆をこえた新しい支えあいのシステムをつくられています。

高齢者地域支援システム



ぬくもりネットワーク

「人様の世話になりたくない」とご不自由をがまんされるお年寄りがいらつしやいます。どんな問題も早期発見が第一です。うずもれた問題を早期に見てくれる身近な地域なればこそ。ひとりひとりの暖かな目と声と手がぬくもりのネットワークづくりの第一歩です。



はじまりは あなたのひと声

高齢化社会とは?

人口全体の中で、65歳以上の「高齢者」の占める割合(高齢化率)が、7%をこえると「高齢化社会」14%をこえると「高齢社会」といいます。

日本の高齢化は世界一の速さで進み、21世紀には4人にひとり65歳以上の超高齢社会になるといわれます。

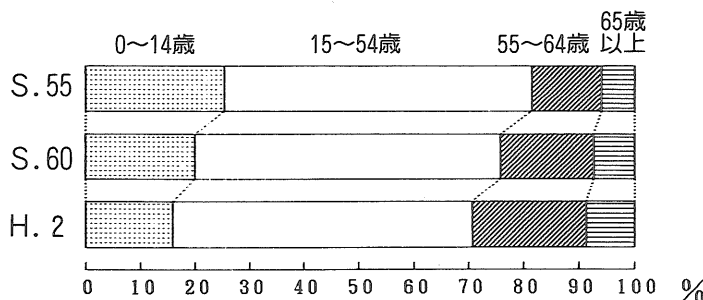
平野区では

平成2年の国勢調査で平野区の65歳以上の方は、約一万七千三百人。十年前の一・五倍。高齢化率は八・七%でした。現在はさらに増え二万人を越えていると思われまます。

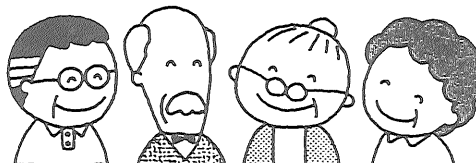
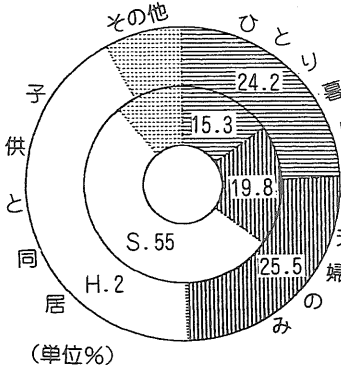
すすむ高齢化 平野区は今

平野区ふたつの特徴 - 国勢調査から -

① 55~64歳の人の割合が多く、今後10年で急速に高齢化が進みます。



② ひとり暮らしや夫婦のみ世帯が急増しています。



ご相談・お問い合わせは

平野区役所区民室
高齢化社会対策担当 ☎702-3331

「いつでも・どこでも・だれでも」 利用できるサービスをめざして

大阪市高齢者保健福祉計画

高齢化に伴い今後、保健や福祉のサービスに対する要望が急増することが予想されます。国は全国の市町村に対して、お年寄りの実態調査により、将来必要となる保健福祉サービスの量を明らかにし、具体的な数字で整備目標を示すことを義務づけました。

大阪市では平成5年9月「大阪市高齢者保健福祉計画」を作成し、平成11年度までの7年間の各サービスの具体的な目標を定めるとともに、これらを総合的に効果的に提供できる体制づくりを計画的に進めることになりました。

平成11年度の目標(一例)

